



一本道

山田小学校通信No.15

令和8年9月10日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を ～1日1ミリ～」

1 作文から見える、「考えの更新」≡「深い学び」

9月9日、「熊本の心」作文募集に、学校代表として6年生の園田すずかさんの作文を出すことになり、私も目を通しました。この児童は、道徳の時間に、「熊本地震」に関連する教材で学び、そこから考えたことや調べたこと、自分の経験を作文にまとめました。とても読み応えのある作文でした。作文の一部を紹介します。

私は熊本地震について調べる前は、避難する場所を確認したりすることだけが大切だと思っていました。でも、今回調べてみて、それだけではなく、普段から周りの人と助け合うことも大切だと思いました。もしこれから大きな災害が起こったら、私は自分のことだけを考えるのではなく、周りの人のことも考えたいです。もちろん、自分の安全を守ることが一番大切ですが、安全を確かめた上で、私にできることをしたいです。

授業を通して考えの広がりや深まりが見られます。この「考えの更新」こそが、「深い学び」です。この児童だけでなく、子供たちは、日常の授業の中で、「考えの更新」≡「深い学び」をたくさんたくさん行いながら、1日1ミリ成長しています。

2 ACP、みんなで遊んで元気アップ！

9月7日、2時間目に2年生、3時間目に1年生が、体育館で、「アクティブ・チャイルド・プログラム【ACP】」を行いました。指導者として、熊本県スポーツ協会から3名の方に来校いただき、楽しみながら積極的に体を動かす運動プログラムをしていただきました。私が参観した時は、「言うこと一緒、やること一緒」「あっち向いてジャンプ」「ねことねずみ」を楽しんでいました。その後も、「大縄くぐりぬけ」「落とさず走ろう」「新聞紙投げとキャッチ」等、たくさんの運動遊びを通して、楽しながら体を動かしました。授業が終わってから、校長室で、次のようなうれしい話をされました。



●子供たちは、ものすごく楽しんでいました。そして、指示もよく聞いていて、ルールもすぐ理解して、感心しました。

●多くの子供たちが、手を挙げて感想を発表したので、驚きました。みんなの前で、手を挙げて感想を言えるなんて、すごいですね。

八代にお住まいということもあり、熊本地震の影響で来られるか迷われたそうです。しかし、帰られるときに、「久しぶりに子供と触れ合えて、楽しかったです。私たちが元気もらいました。」と言われました。私たち山田小こそ、元気をアップしていただき、本当にありがとうございました。

3 長崎県南島原市より視察、「ICT教育」「複線型&深い学び」「学力向上」

9月7日、長崎県南島原市から6名の先生方が視察に来られました。5校時に6年生の授業を参観いただき、6校時に校長室で「本村・本校の研究説明」と「質疑応答」で学びの共有を図りました。



視察に来られた先生方から、次のような質問が出されました。

●授業の〇〇の場面で使っていたのは、どんなソフト？【ICT教育】

●複線型の授業で、6年生が集中しているし、反応がとてもよかった。どんな取り組み？【複線型&深い学び】

●学力が高い。どんな取り組み？【学力向上】

山江村、そして山田小は、ICT教育を推進して16年目となりますが、全国から視察に来られます。その理由を、私なりに次のように考えてみました。

山江村の教育ビジョン「山江村に誇りを持ち、夢のある教育の実現を目指す」の実現に向けて、特に「学力」「ICT教育」「英語教育」に特化し、研究や実践を継続していること

今後も、継続研究&継続実践を推進しながら、山江村の教育、そして山田小の教育を高め、深めていきます。